鹿児島医療技術専門学校　看護学科　カリキュラム・マップ

ディプロマポリシー

- DP1 幅広い知識や教養と優れた判断力を持ち、豊かな人間性を兼ね備えている
- DP2 高い専門性と倫理性をもって社会へ貢献する強い意志と自覚を持ち、現場のスペシャリストとして活躍していく意思がある
- DP3 他職種を理解し、他者とのコミュニケーションを図り、主体的に課題解決していく姿勢がある
- DP4 技術の進展と自身の職務との関連性を理解し、専門職としての順応性を有する

期待される卒業生像

1. 豊かな人間性と社会性を身に着け、倫理に基づいた行動がとれる
2. 自己理解、他者理解ができ、寛容である
3. 創造的で柔軟な発想ができ、自己啓発できる
4. 対象を生活者としてとらえ、健康の保持増進、疾病予防及び健康の回復にかかわる看護を健康の状態や変化に応じて実践できる
5. 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践することができる
6. 看護判断に基づき、安全かつ適切に看護を実践することができる
7. 保健医療福祉の一員としての責任（看護の役割、他職種の連携・協働）を自覚して行動できる
8. 専門職業人としての自覚を持ち、自己研鑽する態度を身に着け、地域社会に貢献できる

看護師国家試験

4年

専門職業人として相応しい態度を身に着け、さまざまな対象に応じた看護を実践し、保健医療福祉チームのなかで、協働するための基礎的能力を獲得する。同時に看護実践の土台となる自己の看護観を明確にすることができる

- 統合分野
  - 看護技術総合評価Ⅱ
  - 国際看護
  - 災害看護
  - 看護専門職論
  - 認定看護セミナー
  - 看護研究Ⅱ
  - 看護研究Ⅰ
- 回復の促進
  - チーム医療論
- 健康支援と社会保障制度
  - 関係法規
- 臨地実習
  - 統合実習
  - 成人・老年看護実習Ⅱ
  - 在宅看護実習
  - しまの看護実習
  - 成人・老年看護実習Ⅰ（急性期）
  - 精神看護実習
  - 小児看護実習
  - 母性看護実習

3年

専門職業人としての自覚を高め、さまざまな対象に応じた看護を実践する基礎的能力を育成するとともに、学生集団のなかでリーダーシップを発揮し、主体的・創造的に活動することができる

- 看護技術総合評価Ⅰ
- 医療安全
- 感染症と看護
- 在宅看護方法論Ⅱ
- 在宅看護方法論Ⅰ
- 専門分野Ⅰ
  - 看護倫理
- 専門分野Ⅱ 発達段階に応じた健康問題を学ぶ科目
  - 成人看護方法論Ⅲ
- 健康水準と看護（領域横断科目）
  - 看護過程展開論Ⅱ
  - 保健指導論
  - 手術療法と看護
  - 終末期と看護
  - 対象別保健論
  - 薬物療法と看護
  - 健康回復援助論
  - 看護過程実習
  - 看護過程展開論Ⅰ
- 精神看護方法論Ⅱ
- 小児看護方法論Ⅱ
- 母性看護方法論Ⅱ
- 精神看護方法論Ⅰ
- 小児看護方法論Ⅰ
- 母性看護方法論Ⅰ
- 人間と生活・社会の理解
  - 教育方法と評価
  - 法学
- 統計学
- 社会保障論

2年

さまざまな看護の対象についての理解を深め、専門職を目指す自覚を持ち、学習集団のなかで、学びあう関係づくりを構築することができる

- しまの医療と看護Ⅱ
- 在宅看護概論
- ケーススタディ
- 専門分野Ⅰ
  - 技術演習・評価Ⅱ
  - 診療の補助技術Ⅱ
  - 診療の補助技術Ⅰ
  - 技術演習・評価Ⅰ
- 成人看護方法論Ⅳ
- 成人看護方法論Ⅱ
- 成人看護方法論Ⅰ
- 老年看護方法論Ⅱ
- 老年看護方法論Ⅰ
- 老年看護学概論
- 老年看護実習
- 臨地実習
- 成人看護学概論
- 精神看護学概論
- 小児看護学概論
- 母性看護学概
- 健康教育論
- 心理臨床
- 教育心理
- 教育原理
- 外国語
- 家族論
- 科学的思考の基盤
  - 情報科学
- リハビリ
- 治療論
- 公衆衛生学
- 疾病の成り立ち
  - 疾病論Ⅴ
  - 疾病論Ⅳ
  - 疾病論Ⅲ
  - 疾病論Ⅱ
  - 疾病論Ⅰ
  - 病理学総論
  - 病態生理学
  - 臨床微生物学
- 臨床栄養学
- 臨床薬理学
- 環境保健学

1年

看護に必要な専門的知識を習得するとともに、看護学生としての自覚をもち、主体的に学習することができる

- キャリア開発
- 人間関係論
- 討議法
- 社会学
- 心理学
- 生活科学 衣・食・住
- 自然科学Ⅱ
- 論理的思考
- 基礎統計
- 自然科学Ⅰ 生物・化学・物理
- 人体の構造と機能
  - 解剖生理学Ⅳ
  - 生化学
  - 解剖生理学Ⅲ
  - 解剖生理学Ⅱ
  - 解剖生理学Ⅰ
- 共通基本技術Ⅳ
- 共通基本技術Ⅲ
- 共通基本技術Ⅱ
- 共通基本技術Ⅰ
- 生活援助技術Ⅲ
- 生活援助技術Ⅱ
- 生活援助技術Ⅰ
- 看護学概論
- しまの医療と看護Ⅰ
- 基礎看護実習
- 臨地実習